



佐藤 未雲 (さとう みくも)

スペースチャイナ

代表取締役

「老師早上好！」（先生、おはようございます！）爽やかな声が飛び交う朝の教室。一人ひとりの生徒の目が輝いている。休み時間にはヘッドホンを使って発音の練習をする姿や壁に向かって中国語の文章を暗唱している光景をよく目にする。

来年3月にはスペースチャイナ外国語学院から第一期の卒業生が、県内初の中国語専門士の称号を取得して社会に巣立ってゆく。彼らが無事に社会の一員になれるよう、学院では就職サポートに大わらわである。

金融為替の会社に応募している生徒やリゾートホテルに就職を希望している生徒、さらに深く学びたいと中国国立大学の3年次への編入留学を目指す生徒もいる。夢に向かって奮闘している彼らを応援する先生たちもまた必死である。就職情報の収集、会社訪問、模擬面接等、夢の実現のため生徒と二人三脚をしている。

模擬面接を通して、大事

## 南風

なのは彼らに自信を持たせることだと痛感している。自分にできるのだろうかという不安を、自分にもできるかもしれないという可能性に変えること、やって見ようと思わなければ、何も始まらないことを気付かせることが大切だ。そのためにも職場体験をせびさせたいと思い、9月には台湾国立師範大学における短期留学と、地元企業でのインターンシップを実施することになった。

「一年之計在于春、一日之計在于晨、一生之計在于勤」（一年の計は元旦にあり、一日の計は朝にあり、一生の計は勤勉にあり）。中国にはこのような諺がある。

入学から一年半、生徒たちは高校までほとんど学ぶ機会がなかった中国語をこれから始め、今では中検2級を取るまでに成長した。沖縄からアジアへ、かつての大交易時代のように彼らが活躍する日を、私もまた夢見ている。

## 一生の計は勤勉にあり